



山梨県社会資本整備重点計画（第四次）

～やまなしを「いかす」「まもる」「つなぐ」県土づくり～

成果

令和8年9月
山梨県



目次

0

はじめに

－本資料の作成趣旨－

1

1

計画概要

2

2

想定事業量

3

3

事業分野ごとの主な整備箇所

4

道路

5

河川

12

砂防

14

公園

16

住宅

17

森林

18

農業

20

4

施策ごとの実績と効果

23

いかす

24

まもる

37

つなぐ

55

効果的

64

5

指標進捗状況一覧

67

6

第四次計画と第五次計画の施策対応表

68

0 はじめに – 本資料の作成趣旨 –

山梨県では、道路、河川、砂防、森林、農業、都市施設など、県民生活や地域経済を支える社会資本を計画的に整備するため、令和2年3月に「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」を策定しました。

第四次計画は、令和9年度のリニア中央新幹線開業を見据え、開業効果を県全域へ波及させる取組をはじめ、自然災害への備え、インフラの老朽化対策、持続可能なまちづくりなどを進める計画としてスタートしました。

その後、リニア開業時期の延期や、国の「社会資本整備重点計画（第六次）」及び「第一次国土強靱化実施中期計画」との整合を踏まえ、令和7年度をもって第四次計画を終了し、令和8年度からの新たな計画として「山梨県社会資本整備重点計画（第五次）」を策定しました。

本資料では、第四次計画期間において実施した主な取組について、実績や効果を写真・図表とともに整理しています。これまでの社会資本整備により、地域間のアクセス向上、防災・減災力の強化、安全安心な生活環境の確保、インフラの計画的な維持管理など、県土づくりの基盤が着実に前進しました。

今後は、第五次計画のもと、県民一人ひとりの豊かさと安全安心を支える社会資本整備を引き続き推進していきます。

新山梨環状道路
（東部区間Ⅰ期）



山梨県社会資本整備重点計画（第五次）はこちら

<https://www.pref.yamanashi.jp/kendosom/syakaishihon-seibijyuuten-plan-5.html>

※二次元バーコードからでもご覧いただけます。



1 計画概要

第1章

計画の目的

【計画策定の趣旨】

リニア開業までの8年間を重要な時期と捉え、限られた財源の中で社会資本整備を効果的かつ効率的に実施していくため、選択と重点化により整備の方向性を明らかにする。

【計画の位置づけと期間・対象】

○計画の位置づけ
「総合計画」及び「強化計画」の下位計画で、社会資本整備に関する最上位計画。

○計画期間
令和2年度～令和9年度(8年間)

【計画の想定事業量】

中長期的な展望に基づく、社会資本整備の計画的な実施や、担い手となる人材の確保・育成のため、継続的な公共投資の規模を想定事業量として示す。期間は「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」に合わせ令和2年度から令和7年度までの6年間とする。

概ね 4,600 億円

第2章

本県の社会資本整備を取り巻く現状と課題

【本県の地域特性】 ○地勢・自然 ○立地 ○産業・経済 ○人口・都市

【現状と課題等】

(1) 高速交通時代と地域資源活用への対応

- ・リニア開業により日本三大都市圏の一体化によるスーパー・メガリージョンが形成。
- ・中部横断自動車道の開通等、新たな高速交通ネットワークの構築による人流・物流の活発化への期待。

- ・高速交通ネットワークの構築による効果を県全域に波及させるための整備が必要。
- ・本県の優れた地域資源を活用し、県内経済の発展に活かすための整備が必要。

(2) 安全・安心への対応

- ・台風などの風水害の激甚化及び富士山噴火・南海トラフ地震等の切迫。
- ・高齢者の運転による事故や子供が巻き込まれる事故の増加、生活排水処理施設の整備の遅れ。

- ・災害に対する県土の強靭化を図り、ハード・ソフト両面の対策が必要。
- ・すべての人が安心して暮らせる生活環境の維持・向上のための整備が必要。

(3) 持続可能社会への対応

- ・インフラの老朽化が進行し、多くの施設の機能喪失危機と維持管理コスト増大の恐れ。
- ・人口減少が進み、経済規模の縮小や地域コミュニティの弱体化の懸念。

- ・効果的・効率的なインフラ長寿命化の取り組みが必要。
- ・人口減少社会に対応した持続可能社会の構築が必要。

(4) 次代の潮流

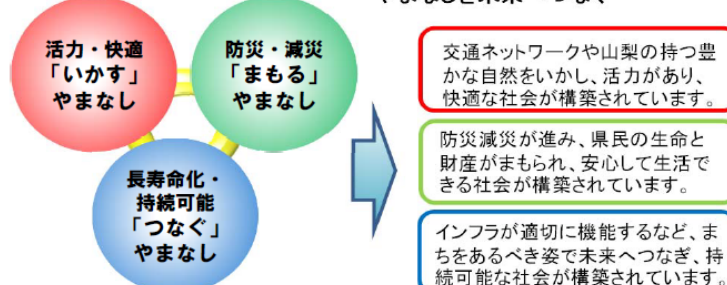
- ・次の時代につながる国際社会共通の目標「SDGs」と連動した「Society5.0」社会の実現によりもたらされる効果に期待。

第3章

本県が目指すべき社会資本整備

基本理念

～活力があり快適で、安全安心な
やまなしを未来へつなぐ～



第4章

重点目標と施策等

分野	重点目標	施策(主な事業内容)	指標
「いかす」やまなし 活力・快適	リニア開業効果の県全域への波及	施策1 リニア駅アクセスの向上	指標1
		施策2 リニア駅周辺の基盤整備	指標2
	他圏域との連携強化	施策3 高速道路ネットワーク等の整備の促進	
	県内拠点間の連携強化	施策4 県内幹線道路ネットワーク整備の推進	指標3
		施策5 市街地交通の円滑化の推進	指標4
		施策6 渋滞対策の推進	指標5
	地域観光資源の利活用	施策7 観光周遊ネットワーク整備の推進	指標6
		施策8 サイクル王国やまなしの実現	指標7
		施策9 インフラの価値や魅力の情報発信	
	活力ある市街地環境の創造	施策10 市街地整備の推進	指標4
	効率的な森林の施策	施策11 林内路網整備の推進	指標8
	農業競争力の強化	施策12 農地・農業用施設の整備の推進	指標9
「まもる」やまなし 防災・減災	自然災害からの生命・財産の保護	施策13 水害対策の推進	指標10
		施策14 土砂災害・山地災害対策の推進	指標11,12
		施策15 富士山火山防災の推進	
		施策16 インフラの耐震対策の推進	指標13,14
		施策17 住宅・建築物の耐震化の促進	
		施策18 森林の公益的機能の強化	指標15
		施策19 農村地域の防災・減災対策の推進	指標16
	緊急時の救援活動を支える基盤づくり	施策20 災害時の避難や救援等に備えた道路の整備	指標17,18
		施策21 災害時応急体制の強化	
	地域防災力の強化	施策22 市町村の防災力強化への支援	
		施策23 災害対応力を高めるための人材育成の推進	
「つなぐ」やまなし 持続可能・長寿命化	安全安心な生活環境の確保	施策24 高次医療機関へのアクセス整備の推進	指標19
		施策25 道路の安全対策の推進	
		施策26 生活排水処理施設の整備の推進	指標20
	インフラの長寿命化	施策27 道路・河川施設等の長寿命化の推進	指標21,22
		施策28 林道・治山施設の長寿命化の推進	指標23
		施策29 農業用施設の長寿命化の推進	
	持続可能なまちづくり	施策30 コンパクトなまちづくりの促進	
		施策31 空き家対策の推進	指標24
		施策32 良好な景観づくりの推進	指標25

社会資本整備を効果的に進めるための施策

施策33

i
n
f
r
a
s
t
r
u
c
t
u
r
e
の
推
進

指標26

施策34

建設業の担い手の確保・育成

指標27

施策35

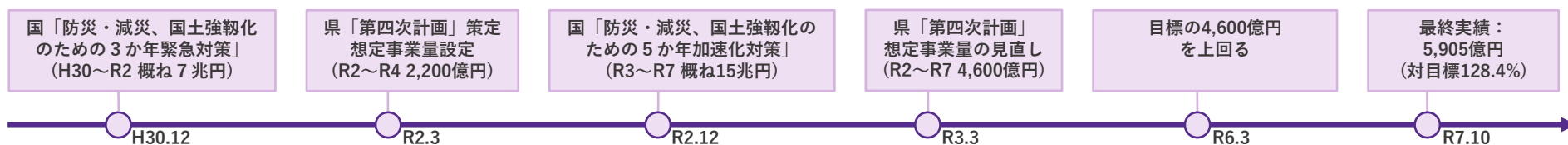
効果的な公共事業の実施

第5章 計画の進捗管理とフォローアップ

35の施策において27の評価指標(目標値)を設定。毎年度進捗管理を行い、結果を公表。

2 想定事業量

- 令和2年度から令和7年度の6年間で、**目標の4,600億円を上回る5,905億円を確保し、社会資本整備を推進**
- 公共投資の見通しを示すことにより、「地域のソフトインフラ」である**建設産業における担い手の確保・育成、将来を見据えた投資意欲の喚起に寄与**



計画

R2.3 策定

- ✓ 新たな試みとして、中長期的な展望に基づく**想定事業量を公表**

計画の想定事業量

令和2年度～令和4年度における想定事業量

概ね 2,200 億円

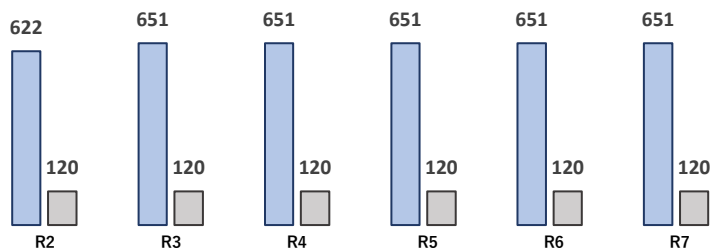
R3.3 改定

- ✓ 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の決定により**想定事業量を見直し**

計画の想定事業量

令和2年度～令和7年度における想定事業量

概ね 4,600 億円

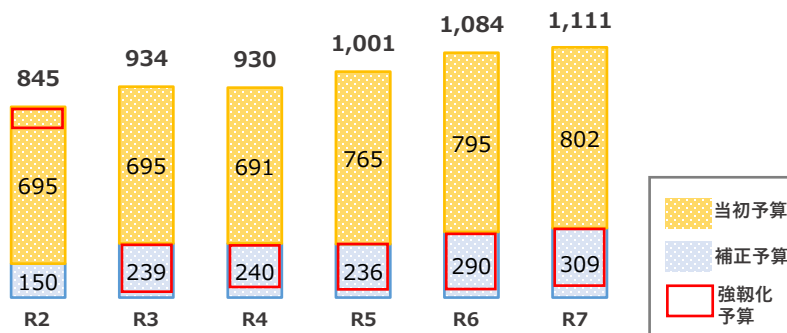


実績

- ✓ 国への積極的な**要望活動**や**有利な地方債**の活用等により、目標の想定事業量4,600億円を**1年前倒しで達成**
- ✓ 計画期間を通じて、**目標額の128.4%となる5,905億円を確保**
- ✓ 安定的な事業量の確保により、**社会資本整備の着実な推進と建設産業の担い手確保・育成、将来を見据えた投資意欲の喚起に寄与**

令和2年度～令和7年度

5,905 億円



※13・16ヶ月予算を前提としている (=「前年度補正予算」+「当年度当初予算」)